

第3学年 保健体育科学習指導案

日時 平成19年10月12日(金) 公開授業2

生徒 上野中学校 3年AC組

女子A組17人 C組16人 計33名

指導者 教諭 加賀 智子

1 単元名 球技「バレーボール」

2 単元について

(1) 教材観

バレーボールは、ネットを挟んで2つに分かれたチームが、3回以内のパスを有効に活用し、状況判断しながら、集団対集団での攻防を繰り返し、相手コートにいかにもボールを落とすかを競い合う種目である。

また、練習やゲームを通して、個人的技能や集団的技能を高めることができるとともに、体力の向上を図ることができる。また、自らの責任を果たしたり、互いに助け合ったりするなど、社会生活に必要な態度を培うこともできる。

これらの特性から、生徒一人ひとりが持っている力を生かして、互いに教えあい、支えあいながら、自発的・自主的に学習を進めることや、技能や体力に応じたゲームの質的な高まりに楽しさや、喜びを味わうことができる種目でもある。

最近では、Vリーグの発足やゴールデンタイムの世界選手権の放映などにより、「見るスポーツ」としても楽しまれているとともに、誰もが楽しめるスポーツとして、レクリエーション等でも広く親しまれている

(2) 生徒観

体を動かすことが好きな生徒達ではあるが、自分ができる種目には積極的であり、苦手と感じた種目にはすぐ消極的になってしまう生徒が多い。また、影響力が強い生徒の発言で授業が左右されることがしばしばある。

バレーボールに取り組み3年目になるが、影響力の強い生徒が中心となって授業を進めてきた結果が、今回の事前アンケートに如実に表れている。

「あなたはバレーボールの授業が好きですか」という問いに対しては、

- 1 好きではない …… 8人
- 2 どちらかというところ好きではない …… 13人
- 3 どちらかというところ好きだ …… 6人
- 4 好きだ …… 6人 / 33人 という結果であった。

3、4の理由としては「楽しいから」が多く、楽しいと答えた生徒は、バレーボール部員などのある程度ボールコントロールができる生徒であった。

1、2の理由としては「苦手だから」「得意じゃないから」といった技能的な面をあげている生徒や、「つまらない」「しらける」「楽しい気持ちでやったことがない」と感情面についてあげている生徒もいた。

「3年生のバレーボールの授業に期待すること、できるようになりたいことは何ですか」という問いに対しては、「アンダー、オーバーのパスができるようになりたい」という生徒が圧倒的に多く、バレーボールの基本の未定着さを浮き彫りにさせた。そして、「楽しく」、「スパイクを打てるようになりたい」、「ゲームができるようになりたい」と発展的なバレーボールのゲームを求める声も少なくはなかった。

(3) 指導観

「個に応じた手だて」について

事前アンケートからもわかるように、バレーボールの基本となるパスがまだまだ未定着な生徒が多い。ゲームを中心に授業を展開しながらも、各自の課題解決の時間や場を設定していきたい。また、コート小さく、人数を少なくし、個人がより多く触球できるようにして、ゲーム感覚を高めていきたい。

「評価の生かし方」について

毎時間の授業を生徒に自己評価させ、そこから出てきたつまづきや課題を次時の学習内容に取り入れていく。

3 単元の目標

- (1) バレーボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように、すすんで取り組もうとする。
- (2) チームの課題や自分の能力に適した課題の解決をすることができる。
- (3) バレーボールの特性に応じた個人的技能・集団的技能を身につける。
- (4) 競技や審判の方法を理解し、知識を身につける。

4 単元の指導計画(全11時間)

- 第1時 オリエンテーション、スキルテスト。
- 第2時 体ほぐしの運動の趣旨をふまえたパス技能練習。
- 第3～5時 ミニコート、少人数で初歩的なゲームを楽しむ。
- 第6～9時 正規のコートでルールを易しくしたゲームを楽しむ。(本時8/11時間)
- 第10～11時 チームにあった作戦を立て、総当たり戦のゲームを楽しむ。

5 題材の評価規準

| | |
|---------|---|
| 単元名・題材名 | 球技「バレーボール」 |
| 題材の目標 | 個人的技能や集団的技能を高めながら、チームの戦術を考えてゲームを楽しむ。 |
| 主な学習活動 | ・ 個人的技能練習 (サービス、パス、トス、スパイク、レシーブ、ブロック) ・ 集団的技能練習(ゲーム) |
| 評価規準 | ・ バレーボールの学習について、練習やゲームを通して、楽しさや喜びを味わおうとする。(関心・意欲・態度) ・ バレーボールの学習について、自分やチームの目標を達成するための課題を見つけている。(思考・判断) ・ 作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。(技能) ・ 競技や審判の方法を理解する。(知識・理解) |
| 評価の方法 | ・ 行動観察・発言・学習カード |

6 本時の指導

(1) 目標

チームの課題解決のための練習をする。【運動についての思考・判断】

(2) 本時の評価の観点と具体の評価規準

| | A 十分満足できる | B おおむね満足できる | C 努力を要する状況の生徒への手だて |
|--------------|---|------------------------------|-------------------------|
| 運動についての思考・判断 | 課題を発見し、その課題解決に向けて積極的に練習し、仲間に働きかけながら取り組んでいる。 | 課題を把握し、その課題解決に向けて練習に取り組んでいる。 | 課題を確認させ、練習をするよう働きかけをする。 |

| | 指 導 内 容 | 生徒の学習活動 | 留意事項と評価・手だて |
|-----------------------|--|---|--|
| 導 入 1 5 分 | 1 ランニング、準備体操 2 補強運動 3 あいさつ 4 学習課題 | <ul style="list-style-type: none"> 各自でランニング、全体で準備体操を行う。 各自の体力作りメニューを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 怪我防止に努めるようしっかり行わせる。 動きをしっかり行わせる。 出席確認を行う。 目標と本時の流れを確認する。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> チームの課題解決のための練習をしよう </div> | | |
| 展 開 2 5 分 | 5 各自の課題を確認し、解決するための練習を行う。 6 確認ゲームを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> チームのための各自の課題を確認させ、課題技能の練習場所に行き、練習する。 練習したことを意識してゲームができるようにさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 全員が練習できるように巡回しながら、指示、助言を与える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>課題を把握し、その課題解決に向けて練習に取り組んでいる。</p> <p>Cの生徒への手だて 課題を確認させ、各技能のポイントを説明し、練習をするよう本人に働きかけをする。</p> <p>Bの生徒への手だて いっしょに練習している仲間ができるようにはたらきかけるよう伝える。</p> <p>Aの生徒への手だて よりゲームに近づいた練習になるよう伝える。</p> </div> |
| 終 結 1 0 分 | 7 本時の振り返り 8 整理運動 9 あいさつ | <ul style="list-style-type: none"> 自己評価、相互評価を行い、目標が達成できたか確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 次時の内容を伝える。 |